

## 令和2年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：国立大学法人福井大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

福井県内の幼稚園では、短期大学卒業後に幼稚園教諭になり、そのまま長年勤務している者(2種免許状取得者)が多く、幼稚園教諭としての最新の教育情勢把握ができていない場合がある。そのため、幼稚園教諭としての知識・技能はもとより、幼稚園教諭としての資質・能力の向上を図る必要がある。さらに、勤続年数の長い幼稚園教諭に関しては、2種免許状取得者であっても、園内リーダーとしての新たな役割を期待されている幼稚園の運営実態がある。そこで、本認定講習では、福井大学と福井県教育委員会及び福井大学教育学部附属幼稚園の連携の下、福井県の幼児教育の振興計画の一翼を担い、1種免許状の取得のための講習を開く。その中で、講習参加教諭が幼稚園内における若手教員を組織し「学び合う専門職コミュニティ」を各園内に構築するような資質・能力の向上を目指した実践的かつ、処遇改善加算・教員免許状更新講習及びその他研修とコラボレーションしながら、効率的な講習を目指し実施する。

#### (2) 事業概要

本認定講習は幼稚園教諭として12年以上の勤務経験を有する者が1年間で1種免許状へ上進できるよう、免許法施行規則に定める科目区分を考慮した適切な10単位の講習(5,100円/1単位)を開設する。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3つ講習を中止した。

○【表現領域(音楽)スキルアップ講座(ピアノ・歌唱の講義と実践演習、音楽表現力の向上)】(1単位)

日程：8/1(土)2(日) 申込人数：6名 受講者数：6名(認定こども園私立4名、幼稚園私立2名)

○【幼児の育ちを支え広げる「学びの地図」としての役割と保育実践における視座】(1単位)

日程：8/22(土)23(日) 申込人数：8名 受講者数：8名(認定こども園私立2名、幼稚園公立1名私立5名)

○【幼児期の心理的発達への検討】(1単位)

日程：9/3(木)4(金)5(土) 申込人数：3名 受講者数：3名(認定こども園私立2名、幼稚園公立1名)

○【気がかりな幼児の理解と長期的な保育実践への検討】(1単位)

日程：9/12(土)12/5(土) 申込人数：5名 受講者数：5名(幼稚園私立5名)

○幼児期の造形表現(1単位)

日程：9/26(土)27(日) 申込人数：6名 受講者数：6名（認定こども園私立1名、幼稚園私立5名）

○【教育課程の編成と保育】（1単位）

日程：10/10(土)24(土) 申込人数：5名 受講者数：5名（幼稚園公立1名私立4名）

○【教育相談-未就学児とその保護者へのカウンセリング的な支援の在り方について-】（1単位）

日程：11/14(土)15(日) 申込人数：6名 受講者数：6名（認定こども園私立1名、幼稚園公立1名私立4名）

計39名受講（実人数12名）

(3) 成果（事業の実績の説明）

①本事業を活用して開設した講習について

福井大学は本事業を活用し、幼稚園教諭免許法認定講習を開設した。全10講習（領域に関する専門的事項2単位、教育の基礎的理解に関する科目等8単位 計10単位）を設け、幼稚園教諭としての勤務経験が12年以上の受講生が最短1年間で上進が可能となるよう認定講習を設計した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3講習を中止し、福井県外からの受講生が参加する2講習については対面式・オンライン同時開講の措置をとった。また、3密を避けるため各講習につき受講定員数も5～10名へと削減した。

②受講者数について及び③単位修得者数について

7つの講習を開催し、のべ39名が受講し全受講生が単位を修得した（各講習の受講生の内訳は事業概要の通り）。昨年は、のべ45名が本学の幼稚園教諭免許法認定講習を受講しており6名減少したが、これは受講定員の削減等の新型コロナウイルス感染症拡大の影響と考察している。

④本事業を活用して幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員数について

令和元年度からの本学の幼稚園教諭免許法認定講習を受講した者のうち、1種免許状に上進した者は7名となった（本学の講習のみの受講による上進3名、本学の講習を一部受講し放送大学等の他大学の単位と合わせた上進4名）。

⑤その他

オンライン講習は、遠方在住者はもちろん多くの受講生から受講しやすさの点について好評だった。一方、対面式講習は、他園の受講生との情報交換のしやすさが好評であり、前者後者ともに受講生のニーズがあることが確認できた。

(4) 今後の課題・展望

本学は幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業の趣旨にあるように、継続的な講習の運営を目指している。しかし、昨年度と今年度ともに委託事業費がなければ赤字運

営となり、同様の運営体制では継続的な講習の開設は困難である。そこで、今後は計画的に開設講習の削減を行い、講習運営に係る支出を抑えることを予定している。

幼稚園教諭として12年以上の勤務経験を有する幼稚園教諭2種免許状保有者が1種免許状へ上進するにあたり、「領域に関する専門的事項に関する科目」1単位、「教育の基礎的理解に関する科目等」7単位、「大学が独自に設定する科目」2単位が必要となる。このうち「教育の基礎的理解に関する科目等」は放送大学において毎年十分な免許法通信認定講習が開設されている一方、「領域に関する専門的事項に関する科目」は全く開設されていない。そこで、次年度は「領域に関する専門的事項に関する科目」を中心とした講習を計画し、「教育の基礎的理解に関する科目等」を豊富に開設する放送大学と連携して、上進に必要なすべての単位を修得する機会を提供していく。

また、福井県幼児教育支援センターが実施する「園内リーダー研修(管理職研修)」など教育職員免許法に定められる科目区分に該当しない研修等については、「大学が独自に設定する科目」として本講習と連携して実施できるよう調整を進める。

ところで、平成31年度に初めて幼稚園教諭免許法認定講習の開設を企画した際、非常に多くの就学前教育に携わる方から問い合わせがあった。特に、長年保育士に携わり、勤務園が認定子ども園となったことを機に、幼稚園教諭2種免許状を上進したいという要望があった。しかし上進の際は、保育士の勤務経験はカウントできないため、受講を断念したケースが多く見られた。認定こども園が設置された経緯や、幼稚園教育要領や保育指針の改訂経緯を踏まえ、保育士経験をカウントできるように是非とも検討いただきたい。保育に携わる方が資質・能力を向上させる研修を受講できることは、認定こども園の今後の発展に寄与すると考える。

#### 本講習の今後の計画

科目の区分 ※福井大学にて開講があった科目を抜粋		必要 単位数	令和3年度予定	令和4年度以降
領域に関する専門的事項に関する科目		1	福井大学 免許法認定講習	福井大学 免許法認定講習
教育の基礎的理解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	7	放送大学福井学習 センター 免許法通信認定 講習	放送大学福井学習 センター  免許法通信 認定講習
保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教職実践演習			
大学が独自に設定する科目(※1)		2		福井県幼児教育 支援センター 各研修